

2008年9月2日
東日本旅客鉄道株式会社

在来線早期地震警報システムの全線区導入について

JR東日本では、在来線をご利用されるお客さまの安全確保を目的として、地震発生時にいち早く列車を緊急停止させる「在来線早期地震警報システム」を2007年12月より首都圏に導入しています。

「在来線早期地震警報システム」は、当社の新幹線早期地震検知システムが地震の初期微動（P波）を検知後、直ちに推定した地震情報と気象庁の緊急地震速報をそれぞれ活用して、必要な区間の列車に緊急停止を指示するシステムです。

このたび、「在来線早期地震警報システム」を首都圏以外の当社管内全線区に導入します。これにより、当社における新幹線、在来線の全線区に地震の早期警報システムが導入されることとなります。

1. 「在来線早期地震警報システム」の概要

別紙1を参照してください。

2. 使用開始時期

2009年度から順次使用を開始する予定です。

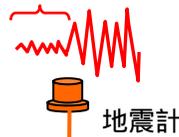
3. 今回導入するエリア

別紙2を参照してください。

今回導入拡大する在来線早期地震警報システム

緊急地震速報

初期微動 (P波)



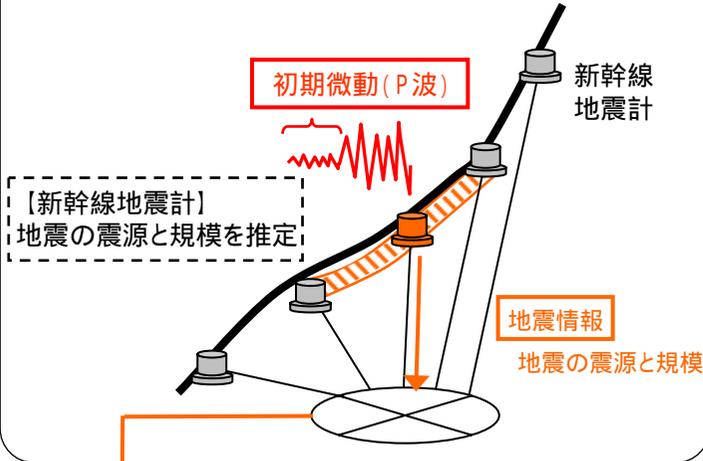
地震計

気象庁

緊急地震速報
配信会社

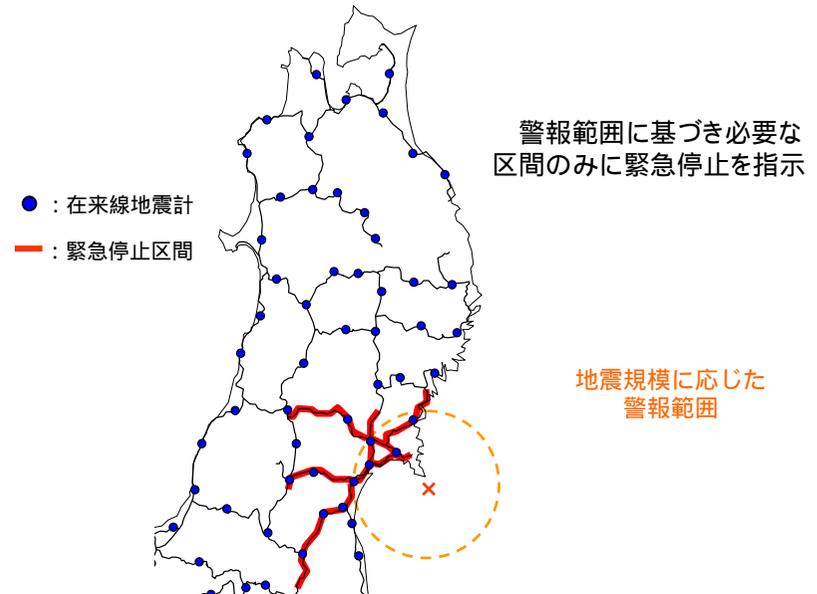
緊急地震速報
地震の震源と規模

新幹線早期地震検知システム



新幹線地震計の地震情報

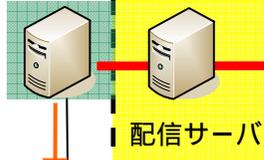
【緊急停止区間のイメージ】



【導入済 (首都圏)】

(2007年12月1日使用開始)

受信・警報サーバ
(東京)



防災情報システム (プレダス)

警報制御装置

「地震発生
緊急停止！」

在来線地震計

主要動 (S波)

列車無線



【今回導入 (首都圏以外)】

は、今回新設する設備



地震の震源と規模から、緊急停止が必要な区間を判定

防災情報システム (プレダス)

警報制御装置

「地震発生
緊急停止！」

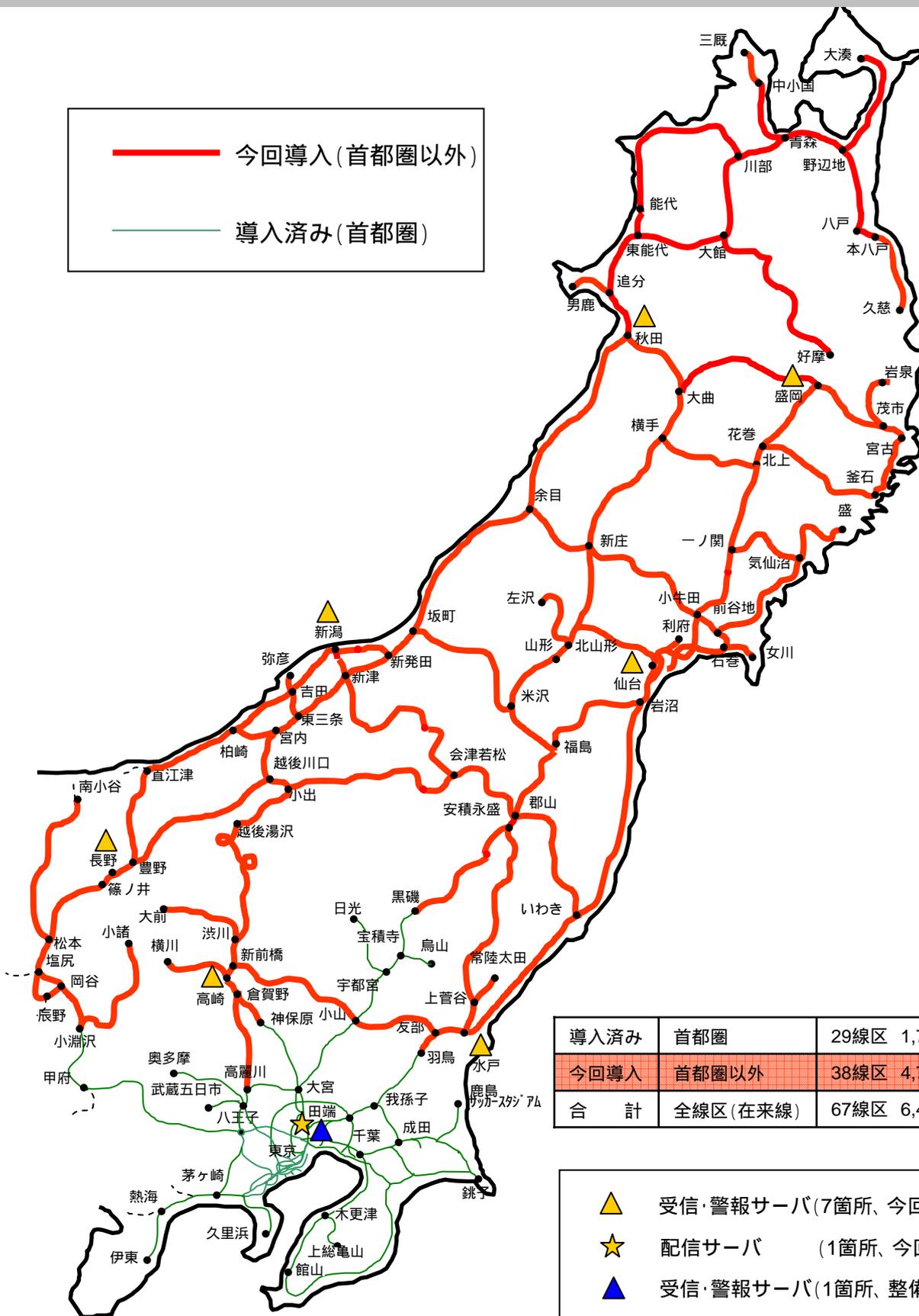
在来線地震計

主要動 (S波)

列車無線



今回導入するエリア



導入済み	首都圏	29線区 1,774km(27%)
今回導入	首都圏以外	38線区 4,700km(73%)
合計	全線区(在来線)	67線区 6,474km

